



平成 26 年 5 月 期 第 2 四 半 期 決 算 短 信〔日本基準〕(非連結)

平成 25 年 12 月 26 日

上 場 会 社 名 三益半導体工業株式会社 上場取引所 東
 コード番号 8155 URL <http://www.mimasu.co.jp>
 代 表 者 (役職名) 取締役社長 (氏名) 中澤 正幸
 問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役管理本部長 (氏名) 八高 達郎 (TEL) 027-372-2011
 四半期報告書提出予定日 平成 26 年 1 月 14 日 配当支払開始予定日 平成 26 年 2 月 5 日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成 26 年 5 月 期 第 2 四 半 期 の 業 績 (平成 25 年 6 月 1 日 ~ 平成 25 年 11 月 30 日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26 年 5 月 期 第 2 四 半 期	22,054	△10.0	1,281	16.6	1,310	22.6	797	24.8
25 年 5 月 期 第 2 四 半 期	24,491	4.8	1,099	△32.8	1,069	△28.9	639	△25.3

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26 年 5 月 期 第 2 四 半 期	23.83	—
25 年 5 月 期 第 2 四 半 期	19.09	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26 年 5 月 期 第 2 四 半 期	68,221	52,831	77.4
25 年 5 月 期	66,176	52,422	79.2

(参考)自己資本 26 年 5 月 期 第 2 四 半 期 52,831 百万円 25 年 5 月 期 52,422 百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期 末	合 計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25 年 5 月 期	—	12.00	—	12.00	24.00
26 年 5 月 期	—	12.00	—	12.00	24.00
26 年 5 月 期 (予想)	—	—	—	12.00	24.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成 26 年 5 月 期 の 業 績 予 想 (平成 25 年 6 月 1 日 ~ 平成 26 年 5 月 31 日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通 期	44,500	0.8	2,400	22.8	2,400	15.0	1,400	11.8	41.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

② ①以外の会計方針の変更 : 有

③ 会計上の見積りの変更 : 有

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は【添付資料】3ページ「(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

26年5月期2Q	35,497,183株	25年5月期	35,497,183株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

26年5月期2Q	2,015,715株	25年5月期	2,015,453株
----------	------------	--------	------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

26年5月期2Q	33,481,611株	25年5月期2Q	33,482,011株
----------	-------------	----------	-------------

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現時点で入手している情報及び合理的であると判断する前提に基づいたものであり、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信【添付資料】2ページ「(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期財務諸表	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、個人消費に持ち直しの動きが見られ、生産が緩やかに増加し企業収益が改善するなど、緩やかな回復基調となりました。

当社の主な需要先であります半導体業界におきましては、タブレット端末の需要は堅調でありましたが、スマートフォンの需要が伸び悩むなど、一部に減速感が見られました。

このような経営環境の中で当社は、最先端加工技術の推進と低コスト化の両立を図るとともに、自社開発製品の拡販を積極的に進めるなど、総力を挙げて業績の改善に取り組みました。

この結果、当第2四半期累計期間の売上高は220億5千4百万円と前年同四半期比10.0%の減収となり、営業利益は12億8千1百万円(前年同四半期比16.6%増)、経常利益は13億1千万円(同22.6%増)、四半期純利益は7億9千7百万円(同24.8%増)となりました。

半導体事業部

当事業部におきましては、一部に減速感が見られましたものの全体的に緩やかな回復基調となりました。そうした中で、更なる生産性の向上と原価低減を推進いたしました。

産商事業部

当事業部は自社開発製品及びその他の取扱商品の拡販活動に積極的に取り組みましたが、その他の取扱商品において減収となりました。

エンジニアリング事業部

当事業部は開発部門としての役割に特化し、自社製品の開発を積極的に行い、産商事業部を通じて販売いたしました。

また、半導体事業部で使用する装置の開発や設計・製作にも意欲的に取り組みました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期会計期間末における総資産は、売上債権の増加等により、前事業年度末と比較して20億4千5百万円増加し、682億2千1百万円となりました。一方、負債合計は仕入債務の増加等により16億3千6百万円増加し、153億8千9百万円となりました。純資産合計は利益剰余金の増加3億9千6百万円等により、528億3千1百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は158億1千5百万円となり、前事業年度末に比べ22億7千万円の増加となりました。営業活動の結果得られた資金は27億1千3百万円となりました。これは売上債権の増加21億5千4百万円があったものの、仕入債務の増加10億9千8百万円、減価償却費13億9千万円等により資金が増加したことによるものです。投資活動の結果得られた資金は7百万円となりました。これは、定期預金の預入による支出60億円や有形固定資産の取得による支出4億6千4百万円等があったものの、定期預金の払戻による収入65億円があったことによるものです。財務活動の結果使用した資金は4億5千1百万円となりました。これは配当金の支払4億1百万円等があったことによるものです。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年5月期の業績予想につきましては、平成25年9月27日に公表いたしました業績予想に変更はございません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更)

当社はシリコンウエハー加工設備（再生ウエハー加工設備を除く）について、設備の使用実態調査の結果を反映して第1四半期会計期間における取得設備より、耐用年数を5年に変更しております。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

シリコンウエハー加工設備（再生ウエハー加工設備を除く）については、通常の稼働時間を超えて使用することが常態化していることから、増加償却の適用対象となりました。

これによる損益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期財務諸表
 (1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年 5 月31日)	当第 2 四半期会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	20,045	21,815
受取手形及び売掛金	13,256	15,411
商品及び製品	186	164
仕掛品	377	377
原材料及び貯蔵品	948	981
その他	780	1,345
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	35,589	40,090
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	12,839	12,296
その他（純額）	12,006	12,309
有形固定資産合計	24,846	24,605
無形固定資産		
投資その他の資産	984	908
投資その他の資産		
その他	4,762	2,623
貸倒引当金	△6	△6
投資その他の資産合計	4,755	2,617
固定資産合計	30,586	28,131
資産合計	66,176	68,221
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	9,481	10,580
短期借入金	100	100
未払法人税等	661	553
引当金	58	30
その他	1,604	2,367
流動負債合計	11,906	13,632
固定負債		
長期借入金	350	300
退職給付引当金	1,312	1,278
その他	184	179
固定負債合計	1,846	1,757
負債合計	13,753	15,389

(単位：百万円)

	前事業年度 (平成25年5月31日)	当第2四半期会計期間 (平成25年11月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	18,824	18,824
資本剰余金	18,778	18,778
利益剰余金	18,147	18,543
自己株式	△3,409	△3,409
株主資本合計	52,339	52,735
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	83	96
評価・換算差額等合計	83	96
純資産合計	52,422	52,831
負債純資産合計	66,176	68,221

(2) 四半期損益計算書
(第 2 四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第 2 四半期累計期間 (自 平成24年 6 月 1 日 至 平成24年11月30日)	当第 2 四半期累計期間 (自 平成25年 6 月 1 日 至 平成25年11月30日)
売上高	24,491	22,054
売上原価	22,262	19,632
売上総利益	2,229	2,422
販売費及び一般管理費	1,130	1,140
営業利益	1,099	1,281
営業外収益		
受取利息	4	5
受取配当金	3	3
為替差益	26	11
その他	23	14
営業外収益合計	57	35
営業外費用		
支払利息	1	0
設備休止費用	57	2
その他	28	2
営業外費用合計	87	6
経常利益	1,069	1,310
特別利益		
固定資産売却益	—	8
特別利益合計	—	8
特別損失		
固定資産売却損	0	0
固定資産除却損	6	13
特別損失合計	6	13
税引前四半期純利益	1,063	1,306
法人税、住民税及び事業税	363	503
法人税等調整額	60	5
法人税等合計	423	508
四半期純利益	639	797

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)	当第2四半期累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	1,063	1,306
減価償却費	1,362	1,390
受取利息及び受取配当金	△8	△9
支払利息	1	0
為替差損益 (△は益)	△3	△0
売上債権の増減額 (△は増加)	△3,893	△2,154
たな卸資産の増減額 (△は増加)	337	△10
仕入債務の増減額 (△は減少)	3,637	1,098
その他	△2,797	1,692
小計	△300	3,314
利息及び配当金の受取額	5	9
利息の支払額	△0	△1
法人税等の支払額	△5	△609
法人税等の還付額	355	—
災害損失の支払額	△36	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	18	2,713
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,500	△6,000
定期預金の払戻による収入	—	6,500
有形固定資産の取得による支出	△225	△464
有形固定資産の売却による収入	2	10
無形固定資産の取得による支出	△9	△21
その他	△12	△16
投資活動によるキャッシュ・フロー	△6,745	7
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	500	—
長期借入金の返済による支出	△350	△50
配当金の支払額	△400	△401
その他	△0	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△250	△451
現金及び現金同等物に係る換算差額	3	0
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△6,974	2,270
現金及び現金同等物の期首残高	17,184	13,545
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,210	15,815

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

報告セグメントごとの売上高に関する情報
前第2四半期累計期間 (自 平成24年6月1日 至 平成24年11月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期 損益計算書 計上額
	半導体事業部	産商事業部	エンジニア リング事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	10,970	13,520	—	24,491	—	24,491
セグメント間の内部売上高 又は振替高	0	—	842	842	△842	—
合計	10,971	13,520	842	25,334	△842	24,491

当第2四半期累計期間 (自 平成25年6月1日 至 平成25年11月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント				調整額	四半期 損益計算書 計上額
	半導体事業部	産商事業部	エンジニア リング事業部	計		
売上高						
外部顧客への売上高	11,067	10,987	—	22,054	—	22,054
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3	—	816	820	△820	—
合計	11,070	10,987	816	22,874	△820	22,054